

C111		梵字悉曇 A	
英名科目名	Calligraphy of Sanskrit Letters A		
大学名	種智院大学		
連絡先	種智院大学教務課 TEL 075-604-5600 FAX 075-604-5610		
担当教員	添野 了(非常勤講師)		
開講期間	2021年04月08日(木)～2021年07月22日(木) 2講時 10時40分～12時10分(毎週木曜日) 休講2021/06/17(木)(学内行事)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	木曜日 2講時
単位数	1	履修年次	1年次以上
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	5	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	平常点(出席状況および授業態度)40%、定期試験60%により評価する。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	単位互換履修生は受講料不要		
別途負担費用	場合によっては、筆や半紙等実費負担。		
その他特記事項	<p>【事前・事後学習】 事前：梵字の講義については、専門用語の読み方をテキストの範囲の中から学修すること。 事後：専門用語、人物などの用語にカナを付けておくこと。</p> <p>【課題に対するフィードバック】 授業最終日に、全体に向けて学んだをフォードバックできるよう、解説を加える。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>【講義概要】 梵字悉曇の歴史を基本において本講義を進めて行く。 講義の展開にあたっては、インドから中国を経由して、日本へ伝わった梵字の歴史を学ぶ。そのなか、とくに日本の梵字悉曇学について詳しく解説する</p> <p>【到達目標】 日本に伝わった梵字の特色を理解できる</p>			
講義スケジュール			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 梵字悉曇概説 2. インドにおける梵字悉曇の成立(1)梵字と悉曇 3. インドにおける梵字悉曇の成立(2)書体の分類 4. 中国における梵字悉曇の受容と展開(1)伝来 5. 中国における梵字悉曇の受容と展開(2)唐代の梵字悉曇 6. 日本における梵字悉曇の受容と展開(1)伝来 7. 日本における梵字悉曇の受容と展開(2)平安時代 8. 日本における梵字悉曇の受容と展開(3)平安時代 9. 日本における梵字悉曇の受容と展開(4)平安時代 10. 日本における梵字悉曇の受容と展開(5)鎌倉～室町時代 11. 日本における梵字悉曇の受容と展開(6)江戸時代 12. 日本における梵字悉曇の受容と展開(7)江戸時代 13. 日本における梵字悉曇の受容と展開(8)江戸時代 14. 日本における梵字悉曇の受容と展開(9)江戸時代 15. 日本における梵字悉曇の受容と展開(10)明治～現代 			
教科書	児玉義隆「梵字必携」朱鷺書房 1991年		
参考書	種智院大学密教学会編「新梵字大鑑」法蔵館 2015年		